

2024 年春 グローバル理工人育成コース

超短期海外派遣プログラム (AOTULE オーストラリア) 募集要項

= 重要 =

・本プログラム参加にあたっては、必ず応募説明会に参加、および奨学金支給に関する説明会動画を視聴し、家族・保証人及び指導教員に相談し、同意を得ること。

応募説明会及び夏の派遣報告会：@W8E-101 2023年10月11日(水) 12:40-14:30
・12:40~13:10(説明会)・13:10-14:30(夏の派遣報告会)

奨学金支給に関する説明動画：10月11日(水)の説明会以降に公開

http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship_shortterm_2024_spring/

・感染症拡大、自然災害等の影響により、渡航が中止になる場合や、渡航開始後であっても本学の判断で途中帰国を指示する可能性がある。またその際に、**自己負担のキャンセル料が発生**することを了承の上、応募すること。

・以下の状況となった場合、渡航を中止する、また渡航期間或いは渡航先を変更することになる可能性がある。

(ア) 滞在(予定)地域が日本からの渡航者・日本人に対する入国制限措置及び入国・入域後の行動制限を発令した場合

(イ) 本学が危険と判断した場合

(ウ) 滞在(予定)地域の危険情報レベルが2以上になった場合

(参考:外務省 海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>)

(エ) 派遣先大学、機関等が受け入れを拒否した場合

・以下の大使館の URL には最新情報と、日本からの渡航者に対する各国・地域の入国制限措置及び入国後の行動制限が記載されているので、必ず確認すること。

在日オーストラリア大使館：<https://japan.embassy.gov.au/>

在オーストラリア日本国大使館：https://www.au.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

【概要】 本プログラムはグローバル理工人育成コース実践型海外派遣プログラムの一環として実施され、以下二部により構成されている。

① 4Q 開講「アイデアが飛び交う遠隔議論」を履修

オンラインで、東工大とメルボルン大学を含む海外の協定校の大学との遠隔交流プログラム「アイデアが飛び交う遠隔議論/Bringing Ideas in Remote Discussion (BIRD)」に参加し、単位履修する。(参考：[BIRD 案内](#))

② 4Q:事前学習とメルボルンでの現地研修

12月中旬から事前学習を行う。本学が加盟する AOTULE (The Asia-Oceania Top University League on Engineering) のメンバー大学であるメルボルン大学において、講義受講(英語)、研究室訪問、学生交流等を予定している。実施訪問先は変更になる可能性がある。帰国後5月頃、海外派遣プログラム報告会で、その内容と成果を報告する。

【単位付与】合計2単位

- ① 学士課程3年生及び4年生、また修士課程の学生の参加については、「LAW.X358：アイデアが飛び交う遠隔議論/ Bringing Ideas in Remote Discussion (BIRD) (1単位)」

* 学士課程1年生および2年生は、現在科目開設中であり、決定後に周知する。

内容・スケジュールについては、LAW.X358の[シラバス](#)を参照すること。

- ② 学士課程1年生および2年生の参加については、「LAW.X103：グローバル理工人海外研修ベーシックIB (1単位)」/学士課程3年生及び4年生、また修士課程の学生の参加については、「LAW.X302：グローバル理工人海外研修IB (1単位)」を履修する。また、学士課程4年生の参加については、以下の条件を満たす必要がある。

1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず、卒業できる見込みがある。

2) 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。

・上記にかかわらず「グローバル理工人海外研修」等ではなく所属学科の科目による単位付与が行われる場合がある。

【応募資格】

1. 東工大正規課程学生(学士課程および修士課程の学生)で、**上記【概要】の①②ともに参加可能なこと**。(スケジュール詳細は後述の【本プログラムに関わる活動について】及び【プログラム全体スケジュール】を確認すること。)

2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。

3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている者を優先する。

① グローバル理工人育成コースの科目履修単位取得数が修了要件に近い。

② ポートフォリオに必要事項(グローバル理工人育成コースの志望動機、所属時ループリック)の入力をしている。

* グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細は、以下のURLにて要確認。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/> (応募者多数の場合は、超短期派遣に初めて参加する者を優先する。)

【応募方法】 T2form (<https://www.t2form.titech.ac.jp/sv/716733?lang=ja>) から申し込むこと。

【海外研修先】 オーストラリア (メルボルン)

【渡航期間】 2024年2月29日(木) ~ 3月10日(日) (9泊11日)

【費用】 25~30万円程度(予定)(航空券代および現地宿泊費)

* ビザ代、海外旅行保険料、諸経費(現地食費等)は含まれない。

* 費用支援制度については下記【海外留学支援制度(協定派遣)について】を参照のこと。該当者は奨学金7万円が支給される場合がある。

* 大学の指定する海外旅行保険に加入する必要がある。

* 宿泊先はプログラム指定ホテルとなる。(2名1室)

【募集人数】10名（最少催行人数8名に達しない場合、プログラムを中止する場合があります。）

【選考方法】書類審査及び面接（面接は書類審査通過者のみに実施する。）

【応募締切】2023年10月31日（火）午前9:00

*応募に際しては、申請書類に指導教員、またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得ること。その際、下記書類を必ず当該教員に確認いただくこと。

http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/09/AA_letter_spring2024.pdf

*留学生の参加については、渡航先のビザ取得期間等を確認の上、応募の可否を自身で判断すること。

【面接予定日】2023年11月6日（月）～8日（水）大岡山キャンパス：対面

【結果通知】11月10日（金）16時までにメールで連絡

【本プログラムに関わる活動について】（注：日程は変更になる可能性があります。）

上記【単位付与】のために、本プログラム参加者は、渡航期間を含む下記の国際教育に関わる活動への参加が義務付けられる。

- ① 「アイデアが飛び交う遠隔議論/ Bringing Ideas in Remote Discussion (BIRD)」参加：
メルボルン大学を含む海外協定校の学生とのオンライングループワーク及び講義等以下の活動を含む
 - ・ [事前学習] グループワーク練習（100分×2回）
 - ・ [プログラム] 和食文化とエンジニアリングに関する講義（100分×3回）
 - ・ 企業訪問（100分×2回）
 - ・ 自己紹介のミニプレゼンテーション
 - ・ グループ別活動（100分×6回）
 - ・ 最終プレゼンテーション※ 詳細については、LAW.X358 アイデアが飛び交う遠隔議論/ Bringing Ideas in Remote Discussion (BIRD)の[シラバス](#)を参照すること。

- ② 事前学習及び海外研修：
 - ・ 2023年10月11日（水）12:40-14:30 応募説明会及び夏の派遣報告会@W8E-101
 - ・ 2023年12月5日（火）12:40-13:30 書類説明会（JASSO奨学金/東工大基金対象者）@W241（W2-401）
 - ・ 2024年1月10日（水）17:30-19:10 グローバル理工人育成コースシンポジウム（オンライン開催）
 - ・ 2024年1月11日（木）12:40-13:30 T2appによる留学手続きに関する説明会@W8E-101
 - ・ 海外安全オリエンテーション @zoom アーカイブ動画を視聴
<https://tokyotech.app.box.com/s/cud7rynjv855hfearvbp6qqkv74pekll>
 - ・ 2023年12月～2月：事前学習，グループワーク（日程は参加者に別途通知）
 - ・ 2024年2月～3月：現地研修
 - ・ 2024年5月：成果発表会リハーサル
 - ・ 2024年5月：成果発表会

【海外留学支援制度（協定派遣）について】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度（協定派遣）の支援対象であり、以下の要件を満たす者については、この制度により留学に係る費用の一部を奨学金（及び渡航支援金※）として支援する。

奨学金の支給要件

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（特別永住者を含む）。
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上である者。

〔成績評価係数の算出方法〕

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

計算式：(「評価ポイント3の単位数」×3)+(「評価ポイント2の単位数」×2)+(「評価ポイント1の単位数」×1)+(「評価ポイント0の単位数」×0)/総登録単位数

※ 学士課程1年生の場合は、前学期の成績の成績評価係数を算出する。

3. 海外渡航を含め、31日以上(説明会・事前学習等を含む)の国際教育に関わる活動に参加すること。そのため、【単位付与】に記載の科目を履修し、2単位を取得すること。
4. 奨学金の併給について
 - 4-1. プログラム参加にあたり、本制度以外の奨学金を受ける場合、支給額が本制度による奨学金額を超えないこと。本制度以外の奨学金支給団体側が、併給を認めない場合があるのでしっかり確認すること。

※ 渡航に係る費用及び返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれない。
 - 4-2. JASSO 国内の奨学金「第一種・第二種奨学金」（貸与型）との併給は可能。

なお、留学期間中の貸与を休止する場合は、学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。
 - 4-3. JASSO 国内の奨学金「給付奨学金」との併給は認められない。留学期間中の給付を停止する場合は、本制度による奨学金支給を受けることができる。学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。
5. 以下の家計基準を満たす場合には、本制度による奨学金に加えて、「渡航支援金」（16万円）の支援対象となる可能性がある。

(家計基準)

家計支持者全員の収入・所得金額の合計が

給与所得のみの世帯：年間収入金額（税込）が300万円以下

給与所得以外の所得を含む世帯：年間所得金額（必要経費等控除後）200万円以下

※ 家計支持者の収入・所得を証明する書類の提出が必要。取り寄せに時間がかかる場合もある為、対象となる可能性がある場合は、プログラム参加決定後すぐにグローバル人材育成推進支援室に申し出、必要書類を確認すること。

奨学金の支給要件Ⅰ.のみを満たさない場合（留学生※）については、東京工業大学基金より支援するが、その他の要件はJASSO 海外留学支援制度（協定派遣）同様である。

※国費外国人留学生については、国費外国人留学生（日本政府（文部科学省）奨学金）制度の規定により、本プログラムの為の支援はない。

プログラムの奨学金額（JASSO 規定に基づく）

乙地域：7万円（オーストラリア）

支援対象者決定までのスケジュールについて

11月10日（金） プログラム参加可否のメール通知時に、海外留学支援制度（協定派遣）また東京工業大学基金の支援可否を通知する。

特記事項

- ◆ 海外留学支援制度（協定派遣）の支援を受ける場合、必要な手続き、提出物があるため、「書類説明会（JASSO 奨学金/東工大基金対象者）」に必ず参加し、案内する期日までに提出物を必ず提出すること。
- ◆ 支給要件を満たさない事が後日判明した場合、また、履修状況等により本学において単位認定出来ない場合には、奨学金の支給後であっても、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
- ◆ **本プログラムへの応募を検討する際は、必ず奨学金支給条件に関する説明会の動画を視聴すること。**
http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship_shortterm_2024_spring/

【問合せ先】

グローバル人材育成推進支援室・留学情報館（Taki Plaza B1F）メールボックス：TP-004

電話：03-5734-3520 / email: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp

超短期海外派遣プログラム (AOTULE オーストラリア) 全体スケジュール

- ①: 4Q開講「アイデアが飛び交う遠隔議論」履修に関わる活動
 ②: 現地研修に関わる事前学習と現地活動

※予定は変更される可能性があります

日時曜日	時間	活動予定	詳細	参加場所		
海外研修前						
②	10/11	水	12:40 - 14:30	応募説明会及び夏の派遣報告会	W8E-101	
②	12/5	火	12:40 - 13:40	書類説明会 (JASSO奨学金/東工大基金対象者)	W2-401	
②	1/10	水	17:30 - 19:10	グローバル理工人育成コースシンポジウム	オンライン	
②	1/11	木	12:40 - 13:40	T2appによる留学手続きに関する説明会	W8E-101	
②	-	-	-	海外安全オリエンテーション	アーカイブ動画視聴	
②	12月~2月			海外研修に関わる事前学習・グループワーク	詳細は追って連絡	
①	12月~2/25	-	-	事前学習	国立科学博物館『和食展』見学	
①	1/19	金	15:25 - 17:05 (7.8限)	事前学習1	グループワークに便利な英会話表現を習得する。	
①	1/26	金	15:25 - 17:05 (7.8限)	事前学習2	国際的な授業履修のための英語ライティングスキルを習得する。	
①	2/2	金	15:25 - 17:05 (7.8限)	事前学習3	和食とフードエンジニアリングにまつわる話題に英語でふれる。	
①	2/9	金	8:50 - 10:30	オリエンテーションと開講式	オンライン	
			11:40 - 13:20	講義1	講義を聴いて、和食にまつわるフードエンジニアリングについての知識を深め、グループワークでの課題を準備する。	オンライン
			14:20 - 16:00	自己紹介	自己紹介及びグループワーク	オンライン
①	2/13	火	11:40 - 13:20	企業見学	食品業界の施設を見学し、和食にまつわるエンジニアリングについての企業の取り組みを学ぶ。	
			14:20 - 16:00	グループワーク1	企業見学をふまえて、新しく発明してみたいエンジニアリングについてのアイデアを出し合い、目標を定める。	オンライン
①	2/14	水	11:40 - 13:20	講義2	講義を聴いてフードエンジニアリングについて日豪の地域や食文化の話題をまじえて理解を深める。	
			14:20 - 16:00	グループワーク2	講義を聴いて、フードエンジニアリングに日豪の地域や食文化の話題をまじえどのようなイノベーション事例があるのかをグループで調べ、自分達のオリジナルなエンジニアリングのアイデアを模索する。	オンライン
①	2/15	水	11:40 - 13:20	講義3	講義を聴いて、和食とエンジニアリングについての知識を深め、グループワークでの課題を準備する。	
			14:20 - 16:00	グループワーク3	これまでの講義や企業見学、グループワークでの話し合いをもとに、新しい発明をするためのアイデアを出し合う。	オンライン
①	2/16	水	11:40 - 13:20	企業見学	食品業界の施設を見学し、和食にまつわるエンジニアリングについての企業の取り組みを学ぶ。	
			14:20 - 16:00	グループワーク4	グループワークでプロジェクト案を考え、学習発表会へ向けて準備をはじめ	オンライン
①	2/19	水	8:50 - 12:15	グループワーク5	学習発表会での発表練習。	
①	2/20	水	8:50 - 14:15	学習発表会	・講義「Gamification、人々の行動変容、SDGs達成や社会課題解決の事例」(東工大工学院 Prof. Katie Seaborn)・CUの教員	
海外研修						
	2/29	月		19:20成田発→		
	3/1	火		→ 7:45現地着、オリエンテーション		
②	3/2	水		メルボルン大学訪問	・メルボルン大学講義体験 (工学系専門科目, 日本語クラス) ・キャンパス, 研究室見学ツアー ・日本語クラス学生との交流会 等	
	3/3	木		メルボルン大学訪問		
	3/4	金		メルボルン大学訪問		
	3/5	土		メルボルン近郊視察		
	3/6	日		メルボルン近郊視察		
	3/7	月		メルボルン大学訪問		
	3/8	火		メルボルン大学訪問		
	3/9	水		最終日		
	3/10	木		9:25現地発→ 成田着17:40		
	海外研修後					
②	5月	月		成果発表会リハーサル		
②	5月	火		成果発表会		